

区内のその他の学校開放図書館



▶学校の昼休みの時間は、子供たちで大にぎわい。一般書が豊富なので、地域の方にももっと利用してほしいと呼び掛けています



①東札幌4条5丁目 ②月・水・金曜日 午後1時～3時30分
③昭和58年度 ④14,082冊
⑤51人(1人) ⑥3階



▶英語の絵本の読み聞かせと翻訳ができるという開放司書の小野岡弘美さん（後列右端）。「読みたい本は、リクエスト」と話しています



①北郷3条11丁目 ②月・木・金曜日 午後1時～4時 ③平成2年度 ④8,993冊 ⑤26人(1人) ⑥2階



▶開放司書の加賀壹代美さん（左から2人目）は、平成二年から活動を続ける大ベテラン。気さくな人柄で、在校生からも人気があります

区内で最初にオープンした開放図書館。蔵書数は区内で最も多く、一般書が全体の四割を占めます。新入生歓迎会をはじめ、毎週月曜日の絵本の読み聞かせや工作教室を開くなど行事も多彩。

貸し出し冊数は区内で最も多い。「図書館」、「開放図書室」、「童話の部屋（右写真）」の三つの部屋に分かれています。年に二回開催される「工作会」は、二百人以上の方が参加するというイベントです。

開設十周年の際に愛称とキャラクターを子供たちから募集し、「おおぞら文庫」と名付けられました。ボランティア数は少ないですが、小学生と中学生がよく訪れ、明るい会話が弾む家庭的な雰囲気です。



①東米里2124番地 ②月・水・金曜日 午後1時～4時(※)
③平成2年度 ④10,094冊
⑤6人(1人) ⑥2階



▶平成四年からずっと開放司書を務めるのが吉田節子さん（左端）。行事や本選びなどの作業は、ボランティア全員が共同で当たっています

愛称は、「あづまばし文庫」。机、いす、本棚、床が木製で、ちょっとおしゃれな暖かい雰囲気です。学年ごとに開催される「映画会」は、この文庫ならではの行事で、毎回百人を超える参加者があるそうです。



①菊水8条1丁目 ②月・水・金曜日 午後1時～3時30分
③平成4年度 ④7,265冊 ⑤35人(1人) ⑥3階



▶ボランティアは二十九代と幅広く、「地域の人たちのふれあいもこの場所から生まれてほしい」と話すのは代表の前田恵子さん（後列左）

今年の一月にオープンしたばかり。机の塗装から室内の飾り付けすべてが手作りで、ほのぼのとした雰囲気。図書館の愛称は「夢ぼけっと」。本を通して夢をつかんでもらいたいという願いが込められています。



①北郷6条3丁目 ②月・水・金曜日 午後1時～4時 ③平成13年度 ④1,850冊 ⑤50人(2人) ⑥1階

東札幌小学校

北都小学校

東米里小中学校

東橋小学校

北白石小学校

①住所 ②開放日時 ③開放開始年度 ④貸し出し可能蔵書数 ⑤ボランティア数（うち開放司書数） ⑥図書館のある階